

平成 29 年度事業評価シート

No.1

PLAN(計画)

自己評価

事務事業
番号

6

事業区分	一般ソフト事業	事務事業評価の履歴				有
事務事業名	不法投棄対策事業					
予算科目	4	款	3	項	1	目
予算事業名	不法投棄対策事業					
総合計画での位置づけ	住みよい生活環境をつくる					
担当課	町民生活課	担当課長	森 裕子			
事業担当者	八丁 由香		一次評価者	安川 和滋		
事業の性格	自治事務					
法令根拠等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律					
事業の対象	町全域					
事業の目的	不法投棄をなくし自然環境・生活環境の保全を図る。 具体的には現在年間33件の不法投棄がある。これを0件にすることを目標とする。					
実施期間	開始年度	平成 16 年度から				
	終了年度	平成 年度まで				
事業の内容	町内巡回、不法投棄物の回収、看板設置					
目的達成の指標	不法投棄の件数					
	区分年度	単位	28 年度	29 年度	30 年度	31年度
	目 標	件	—	30	29	28
	実 績	件	35	33		
指標設定の考え方	不法投棄件数を減らすことが目的達成の指標である。					
事業遂行時懸案事項等	猪野川周辺など町外からの来訪者のマナー低下、ごみ放置					
事業実施時懸案事項対応等	新たなごみを呼ばないよう、通報があればすみやかに回収を行う。 夏は猪野川周辺へは毎週巡回を行い、ごみがあれば回収している。					

事務量及び財政内訳

町民一人当たり負担額 403 円
 ※負担額には国費・県費は含まれていません(千円)

項 目	28 年度予算	29 年度予算	30 年度予算	31 年度予算
事務量	① 人工数	0.10	0.10	0.10
	② 人件費単価	6,768	7,381	7,350
	③ 補助事業人件費	0	0	0
	人件費(①×②-③)	676	738	735
事業費	直接事業費	3,008	2,820	2,820
	人件費	676	738	735
	合 計	3,684	3,558	3,555
財源内訳	国庫支出金	0	0	0
	県支出金	0	0	0
	地方債	0	0	0
	その他	0	0	0
	一般財源	3,684	3,558	3,555
	合 計	3,684	3,558	3,555

事業費計画

(千円)

区分/年度	28 年度	29 年度	30 年度	31 年度	32 年度
目 標	3,008	2,820	2,820	2,820	2,820
実 績	2,424	2,423			

事業活動の実績(活動指標)

※ 上段には目標値を、下段には実績値をそれぞれ記入してください。

項目	単位	28 年度	29 年度	30 年度	31 年度
公共用地清掃	円		2,400,000	2,400,000	2,400,000
		2,400,000	2,400,000		
不法投棄除去委託料	円		420,000	420,000	420,000
		24,194	23,324		
看板設置	箇所		1	1	
		2	3		

DO(実施)

事務量及び財政内訳

町民一人当たり負担額 355 円
 ※負担額には国費・県費は含まれていません(千円)

項 目	28 年度決算	29 年度予算	29 年度決算	
事務量	① 人工数	0.10	0.10	0.10
	② 人件費単価	6,768	7,381	7,129
	③ 補助事業人件費		0	0
	人件費(①×②-③)	676	738	712
事業費	直接事業費	2,424	2,820	2,423
	人件費	676	738	712
	合 計	3,100	3,558	3,135
財源内訳	国庫支出金		0	0
	県支出金		0	0
	地方債		0	0
	その他		0	0
	一般財源	3,100	3,558	3,135
	合 計	3,100	3,558	3,135

実施備忘録

不法投棄者が町民とは限らないので、注意喚起が難しい。

自己評価	評価者	八丁 由香
------	-----	-------

5段階評価で評点を付けます。
5 大 ←→ 小 1 ↓

1. そもそも必要な事業か？	評点	判定
<input type="checkbox"/> 町民のニーズが高い。ニーズが増加傾向である。	5	A
<input type="checkbox"/> 緊急性が高く、即時に実施しなければならない。	5	
<input type="checkbox"/> 実施しなければ町民生活に及ぼす影響が大きい。	5	
<input type="checkbox"/> 町民生活や町のイメージアップの向上に寄与する。	5	
2. 町が実施する必要があるか？		
<input type="checkbox"/> 町が実施主体となることが法令等により定められている ※該当する場合は左の口にチェックしてください。		B
<input type="checkbox"/> 公権力行使、あるいは政策判断を伴い、民間等では実施できない。	4	
<input type="checkbox"/> 民間等や国・県で実施するよりも効果的である。	4	
<input type="checkbox"/> 民間等あるいは国や県で類似事業を実施していない。	4	
3. 実施内容は適切か？		
①有効性		A
<input type="checkbox"/> 久山町総合計画基本計画の将来計画を実現するために有効な事業である。	5	
<input type="checkbox"/> 事業の手法・活動内容は適切である。	5	
<input type="checkbox"/> 事業の成果達成状況や進捗状況は順調である。	4	
②効率性		A
<input type="checkbox"/> 事業費に見合った成果を上げている。	4	
<input type="checkbox"/> 外部委託等(指定管理者を含む)による効率化が図られている。	5	
<input type="checkbox"/> 実施方法の工夫により効果を維持しながらコスト削減を図っている。	4	
③公平性・透明性		B
<input type="checkbox"/> 受益者負担について課題はない。(または、受益者負担を求めることが適当でない。)	3	
<input type="checkbox"/> 事業費に占める一般財源の額は妥当である。	5	
<input type="checkbox"/> ホームページや広報を活用し、積極的に情報を公開している。	3	

今後の方向性	見直しの具体的内容
<input type="checkbox"/> 重点化 <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま維持 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 事業完了	<input type="checkbox"/> 実施方法の工夫 <input type="checkbox"/> 事業の効率化 <input type="checkbox"/> 受益者負担の適正化 <input type="checkbox"/> 事業縮小 <input type="checkbox"/> その他

4. 自己評価の理由(必要性、有効性、効率性、公平性・透明性の観点から)

自然環境・生活環境の保全を図り、住み良い生活環境をつくるためには必要な事業である。
 業者委託も行って、効率化も行っている。
 不法投棄は廃棄者が誰かわからず、モラルの問題であるので、減らす対策が難しい。

5. 成果実績の評価(今後の方向性等について具体的に)と課題認識

不法投棄をする人は、禁止看板があってもおかまいなしであり、またバーベキューごみなどは未使用のものも含めてすべてを放置していくという悪質なものである。対象範囲は町内全域であり、町外からの来訪者も多い中、対策は難しい。
 地道な活動を続けていきたい。

CHECK(評価)

自己評価を基に基本施策の進捗状況と照らし合わせて評価を行う。

No.4

一次評価	評価者	安川 和滋
------	-----	-------

5段階評価で評点を付けます。
5 大 ↔ 小 1 ↓

項目	評点	判定	
1. そもそも必要な事業か？	5 5 4 3	A	
2. 町が実施する必要があるか？	3 5 4		B
3. 実施内容は適切か？			
①有効性	3 5 5		
②効率性	5 3 5	A	
③公平性・透明性	5 4 3		B

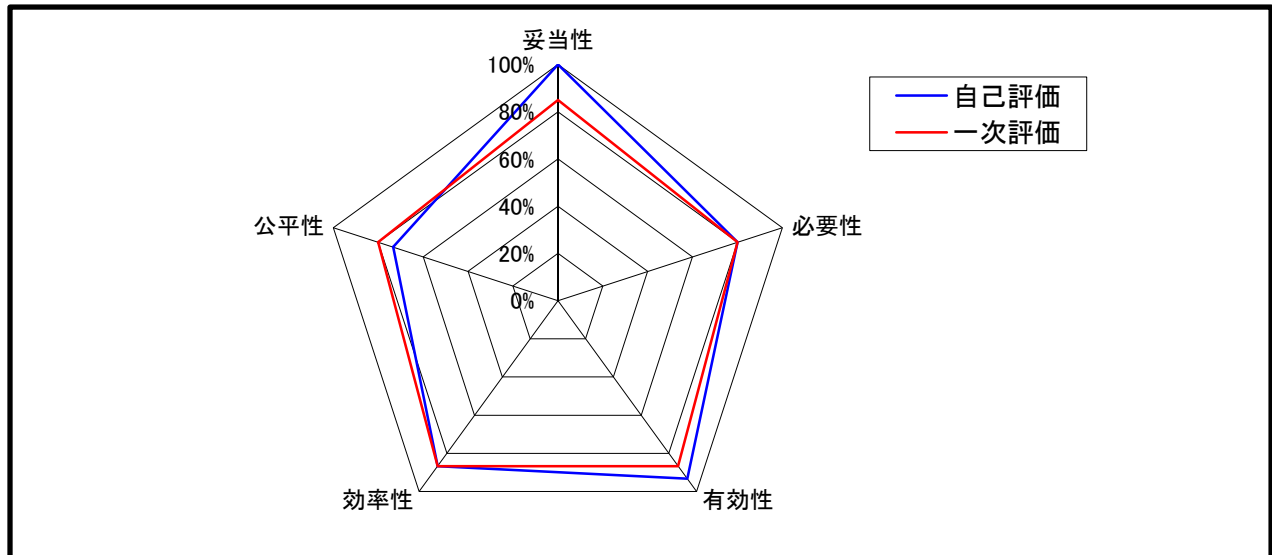
今後の方向性
<input type="checkbox"/> 重点化
<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま維持
<input type="checkbox"/> 見直し
<input type="checkbox"/> 廃止
<input type="checkbox"/> 事業完了

見直しの具体的内容
<input checked="" type="checkbox"/> 実施方法の工夫
<input type="checkbox"/> 事業の効率化
<input type="checkbox"/> 受益者負担の適正化
<input type="checkbox"/> 事業縮小
<input type="checkbox"/> その他

一次評価の理由(今後の方向性等について具体的に)

不法投棄はすぐには解決できないことも多いが、自分達だけではなく、福岡県や田園都市課との協力により、車を侵入させないことにより、解決を図った事例がある。不法投棄は看板等で減少することもあるが、巡回パトロールを強化し、住民の通報等により、すぐ処理することで、そこに捨てていいという、感覚をおこさないように、迅速に対応している。

自己評価・一次評価の傾向



ACTION(評価・改善)

自己評価、一次評価の結果を踏まえ、実施体系の進捗状況と照らし合わせ評価を行う。

二次評価	評価者	森 裕子
------	-----	------

- 一次評価結果により、以下の点について良好と評価し、更なる事業推進を進める。

- 一次評価結果のとおり事業継続と判断する。

大型家電などの不法投棄は数年前と比べると減少したが、一般の人がレジヤ後のごみをそのまま放置して帰る非常識な事案が増えた。放置自転車も相変わらず多い。看板等の設置も余り効果が期待できないが住民のより良い住環境を保持するには必要な事業と考える。

- 一次評価結果のとおり事業継続と判断するが、以下の課題を新たに追加する。

- 一次評価は以下の点で問題がある又は判断されるため、一次評価の見直しを求める。

一次評価をやり直し、
月 日
までに事務局へ提出すること。



- 住民サービスに直結する主要事業のため、評価そのものを外部評価委員会に諮ることとする。

- 一次評価結果のとおり事業縮小と判断し、外部評価委員会に諮ることとする。

外部評価委員会で評価する。
月 日
開催予定



- 一次評価結果のとおり事業廃止と判断し、外部評価委員会に諮ることとする。

評価終了
 外部評価へ

事務事業の改善案

手段	
内容	

外部評価

今後の方向性
<input type="checkbox"/> 重点化
<input type="checkbox"/> 現状のまま維持
<input type="checkbox"/> 見直し
<input type="checkbox"/> 廃止
<input type="checkbox"/> 事業完了



見直しの具体的内容
<input type="checkbox"/> 実施方法の工夫
<input type="checkbox"/> 事業の効率化
<input type="checkbox"/> 受益者負担の適正化
<input type="checkbox"/> 事業縮小
<input type="checkbox"/> その他

評価	
----	--

外部評価委員の意見

--

経営者会議

経営者評価	
-------	--

今後の方向性
<input type="checkbox"/> 重点化
<input type="checkbox"/> 現状のまま維持
<input type="checkbox"/> 見直し
<input type="checkbox"/> 廃止
<input type="checkbox"/> 事業完了



見直しの具体的内容
<input type="checkbox"/> 実施方法の工夫
<input type="checkbox"/> 事業の効率化
<input type="checkbox"/> 受益者負担の適正化
<input type="checkbox"/> 事業縮小
<input type="checkbox"/> その他

評価	
----	--

経営者会議の評価

--